

創刊の辞

広島修道大学は21世紀の最大の課題といわれる環境問題を総合的に研究し、地域社会の環境問題の解決に重要な役割を果たす人材を養成するために、本学の第5番目の学部として人間環境学部を本年4月に開設した。また、同時に広島修道大学人間環境学会が発足し、今般機関誌『人間環境学研究』創刊号を発行することになった。市川太一前学長、宇野伸浩前学長室長、高橋恭一教務部長、時政勲人間環境学部長等の設置申請作業に関わった方々のご苦勞に感謝したい。

本年8月26日から9月4日まで南アフリカのヨハネスブルグで開催された、環境・開発サミットでは、地球規模での環境保全と開発の両立が討議され、大きな国際ニュースとなった。近年、わが国は、国レベル、地域レベルで環境問題の取り組みを強化し、「循環型社会」を目指す環境計画を推進している。

このような社会的ニーズに的確に対応してゆくために人間環境学部が発足し、機関誌『人間環境学研究』が発行された意義は大きい。

本誌が、人間環境学に関する理論的、実証的研究を積極的に推進し、創造的な研究を生みだし、自由で活発な議論の場となることを願っている。

新学部の研究成果が新生『人間環境学研究』に多数掲載され、学界の評価を受け、ユニークな研究誌として市民権を得て、人間環境学の発展に寄与することを期待し、創刊の辞としたい。

2002年11月1日

広島修道大学学長

兒玉正憲